

## 平成22年度 第2回半田病院経営委員会次第

○日 時： 平成23年3月5日(土)  
午後1:00～5:00  
○場 所： 半田病院 3F大会議室

1. 開 会 1:00～
2. 管理者あいさつ
3. 特別講演 1:10～2:10  
講 師 さぬき市民病院  
病院事業管理者 徳田 道昭 氏  
『さぬき市民病院の現状と課題』
4. 委員の紹介
5. 審議事項 2:30～
  1. 平成22年度病院事業経過報告について
  2. 平成23年度病院事業計画について
  3. その他
6. 閉 会

# つるぎ町立半田病院経営委員会委員名簿

平成23年3月5日

	氏 名	役 職 名
1	富 田 一 栄	税理士、総務省地方公営企業等経営アドバイザー
2	谷 田 一 久	(株)ホスピタルマネジメント研究所 代表取締役
3	美 馬 真 澄	つるぎ町住民代表
4	小 坂 重 夫	つるぎ町議会議長
5	藤 川 義 裕	つるぎ町 副町長
6	満寿川 豊	つるぎ町役場 参事
7	沖 津 修	つるぎ町立半田病院 院長
8	宇 山 弓 子	// 副院長 (総看護師長兼)
9	丸 笹 忠 明	// 事務長
10	寒 川 忍	// 職員労働組合代表

## ◎オブザーバー

- 診療部 中矢診療部長・須藤診療部長・仁木診療部長・木村診療部長  
飯原医局長
- 看護部 久保田看護師長・長尾看護師長・真鍋看護師長・北原看護師長  
平田看護師長・曾我部看護主任・南看護主任・岸看護主任  
山下看護主任・真鍋看護主任・岡看護主任  
井口医療連携係(MSW)
- 診療支援部 橋本薬剤科長・井筒放射線科長・小笠検査科長  
河野リハビリテーション科主任・片岡管理栄養士・福原工学技士
- 管理部 鎌村総務課長・岡山医事課長・逢坂課長補佐
- 診療情報管理室 山本係長・大谷係長

計38名

平成 22 年度

## 第 2 回半田病院経営委員会



平成 23 年 3 月 5 日 (土)

# 目 次

## 平成 22 年度病院事業経過報告

1 概要	2
2 入院・外来患者数の動向	2
3 事業計画の執行状況	4
4 経営状況	5
(1) 上半期決算	5
(2) 本年度の決算見込	6
○上半期決算書	7
○上半期貸借対照表	11
○入院患者数（4月～1月）	13
○外来患者数（4月～1月）	15
○時間外患者数	17
○平均在院日数	19
○紹介率	20
○1月末現在のキャッシュフロー計算書	21
○本年度決算計算書（見込）	23

## 平成 23 年度病院事業計画

1 医療提供への取組み方針	27
2 事業計画	28
3 財政状況の見込	29

# 平成22年度 病院事業経過報告

## 1 概要

平成22年度に行われた診療報酬改定は、全体で0.19%（本体1.55%、薬価△1.36%）の引上げとなった。このことは、病院経営の健全化を図る上で常に医業収益の確保が注視される中、10年ぶりのプラス改定は、経営が深刻化する公立病院にとって経営改善が図れるものと期待された。

半田病院にとっても、救急、産科、小児及び外科分野の引上げが盛り込まれたこともあり、病院経営の健全運営が図れるものと大いに期待された。折しも、当年度では、消化器診療の充実を図るために、内視鏡室の拡充整備とともに、診療情報の一元化による診療業務の効率化を推進するための電子カルテ導入を計画していた。これらの事業には、多額の費用を要することから、経営を圧迫するものと見込まれた中、この改正により医業収益の確保が図れるものと考えていた。

しかし、本年4月以降、当院の入院・外来患者数は、前年度に比べ減少傾向で推移することになり、当初の予想に反し厳しい病院運営を強いられる状況となった。

ただし、当院は、医師不足が深刻化する西部医療圏において、医療の集約化が進む中、産科医療を担っているほか、地域の医療需要の高まりとともに、透析医療施設としての役割を果たしているなど、地域の医療ニーズに対応している。

このような状況もあり、当該診療科の患者数は、増加傾向となっているが、本年1月末現在における入院・外来患者総数は、前年度に比べ減少している状況であり、本年度の病院運営は、厳しい環境となっていることは否めない。

この患者数の減少による影響は、本年度の医業収益に反映されることになり、入院・外来収益の確保において、深刻な状況となっている。資金運用においても当年度の電子カルテ導入等の支出もあった中、留保資金の確保にも大きな影響を及ぼしている。

決算期を迎えた現在、安定した医療提供と健全経営の両立を堅持するためには、この現状を踏まえ、一層の収益確保と経費の抑制に向けた取組みを徹底していくなければならない。

## 2 入院・外来患者の動向

概要のとおり、当年度の入院・外来患者数は、減少傾向が続く状況にあり、本年

1月末時点における患者数の状況は、入院患者数が30,338人、外来患者数では、67,066人と前年度に比べ低調となっている。

ただし、この前年比較においては、昨年の新型インフルエンザ流行による特殊事情を考慮しなければならないが、本年度の入院・外来患者は、例年にも増して減少傾向で推移している。

#### 入院・外来患者延数の比較

	入院患者	外来患者
平成22年度	30,338人	67,066人
平成21年度	32,525人	70,622人
差引	△2,187人	△3,556人
前年度比	93.2%	95.0%

#### 主な診療科の患者数の比較

##### ・入院

	内科	外科	泌尿器科	産婦人科	小児科
平成22	12,692	4,095	5,131	7,094	1,326
平成21	13,551	5,253	5,047	7,000	1,674
差引	△859	△1,158	84	94	△348
前年度比	93.7%	78.0%	101.7%	101.3%	79.2%

##### ・外来

	内科	外科	整形外科	泌尿器科	透析	産婦人科	小児科
平成22	25,659	4,230	908	4,810	6,751	14,376	7,630
平成21	26,199	5,017	1,353	4,410	5,348	13,280	12,512
差引	△540	△787	△445	400	1,403	1,096	△4,882
前年度比	97.9%	84.3%	67.1%	109.1%	126.2%	108.3%	61.0%

診療科別の患者数では、泌尿器科、透析及び産婦人科の入院・外来患者数がともに増加している。これは、糖尿病等慢性疾患の増加による透析需要に加え、他の透析医療機関の廃院に伴い患者を受入れたほか、地域医療圏の医師不足を起因とした産科の集約化により、当該診療科は増加することになった。

また、内科、外科においては、専門的診療の充実、病診連携が進む中、在院日数の短縮も見られ、総体的に入院・外来患者数は減少傾向となった。

小児科については、昨年の常勤医師2名体制ものと、新型インフルエンザによる時間外患者数の急増もあり、入院・外来患者数は増加する結果となった。しかし、本年度に入り、医師への業務負担改善策として時間外患者の抑制策を講じたほか、常勤医師1名の診療体制となった現状を考慮すれば、これまでのような入院・外来患者への対応は、難しいものと考えている。

なお、当院における近年の入院・外来患者数の推移を見れば、平成17年度をピークに患者数は、減少傾向となっている。この主要因としては、平成18年度より療養型病床を廃止して病院の位置づけを急性期にしたほか、平成20年度から常勤整形外科医不在により、患者が減少したことが考えられる。

当院が将来にわたり、地域医療の推進と安定した病院運営を継続していくためには、地域の医療ニーズに対応するための医師確保と効率的な診療・看護体制の整備が喫緊の課題となっている。また、他の医療機関との機能分担と連携を緊密にするほか、国保診療施設として保健・医療・福祉サービスの地域包括医療システムによる体系的な医療提供体制の充実も必要と考える。

### 3 事業計画の執行状況

本年度の事業計画のうち主なものとしては、電子カルテ導入事業、内視鏡室の拡充整備となっている。その中、診療情報の一元化・診療機能の充実を図り、院内の業務効率のアップを目指すことにした。

まず、前年度より当院の懸案事項となっていた電子カルテ導入事業については、事業費約150百万円を計上し、導入に向けた作業工程も順調に進み昨年末にはシステム納入を完了。現在は、平成23年度の実用に向けた職員の研修段階となっている。そして、内視鏡室の拡充整備については、専門医師の充実により、消化器診療体制が整備されたことで、これまでの狭隘な既設内視鏡室での診療体制から、効率的な診療を図るため、医療機器の整備のほか診察室を2診体制とした内視鏡センターを設置した。今後は、医師の内視鏡研修施設の認定を受け、若手医師の研修病院になることを目指していく。

また、本年度の実施により、翌年以降の病院経営に影響を及ぼすことになった南入院病棟の耐震診断を実施している。診断結果により、強度不足が明らかになり、耐震補強又は改築の選択を迫られた中、国の医療施設耐震化事業による改築工事を

計画することになった。平成23年度の早期着工を目指すため、当年度の12月補正において、設計委託費を予算計上している。

## 4 経営状況

### (1) 上半期決算報告

平成22年度の病院運営は、患者数が減少となる状況下に、医業収益に注視することになったが、上半期の決算では、事業収益総額1,124,597千円を確保することができた。また事業費用総額は、1,115,094千円となり、収支差引額9,503千円の黒字となった。

入院・外来患者数が低調で推移したものの、医業収益は、1,089,426千円となり、前年度に比べ38,784千円の収益増となった。この収益の内訳は、入院収益額が642,196千円、外来収益が393,534千円となり、前年度に比べ増収する結果となった。

この増収の要因としては、本年度の診療報酬プラス改定による効果が大きく表れたことにより、入院・外来患者数の減少に伴う収益減を補う結果となっている。さらに、入院収益においては、DPC算定で医療機関別補正係数が引上げられたこともあり、前年度を上回る入院収益が確保できたものと考えている。

一方、事業費用総額では、前年度に比べ60,393千円の増額となっている。この増額の要因は、義務的経費である職員給与費が前年度に比べ48,512千円増額したことが大きな要因となっている。医療体制確保のため、各診療科の非常勤医師派遣に要する賃金が増額したほか、職員3名の退職に伴う特別負担金が追加されたことによる。

また、材料費については、入院患者の減少もあり給食材料費は、若干減少することになったが、薬品費及び診療材料費については、透析患者等が増加している状況もあり、前年に比べ増額することになった。

上半期の経営状況の比較。

経営指標	平成22年度	平成21年度
経常収支比率	101.3%	104.2%
実質収益対経常費用比率	97.0%	100.0%
医業収支比率	102.8%	104.6%
医業収益対職員給与比率	61.5%	59.1%
材料費比率	16.6%	16.6%
うち薬品費	9.5%	9.4%
病床利用率	75.7%	78.0%
在院日数	11.5日	12.2日

(2) 本年度の決算見込

平成22年度上半期の決算以降、患者数の増加が期待されたものの、入院・外来患者の減少傾向は、現在においても回復基調は望めない状況である。この状況の中、診療報酬改定、入院のDPC等の効果により、上半期時点では医業収益の確保も図っていたが、患者の減少が続く状況の中にあって、収益確保は難しくなっている。本年1月の診療報酬請求額では、前月まで維持していた170百万円を下回る状況になっている。通年、決算期を控えた1月以降の請求額は、患者数の確保とともに増加傾向が見られたが、本年度は1月に入り患者の減少が顕著となるなど、当年は異例となる状況の中、収益確保にも大きく影響を及ぼすものと見込まれる。

なお、12月末における報酬改定及びDPC等の効果として、医業収益のうち1件1日当たりの入院収益は、36,862円(前年34,994円、5.3%増)、外来収益は、9,455円(前年8,506円、11.2%増)と増額している。

一方、費用においては、義務的経費である職員給与が前年比で31百万円程の増額を見込むほか、材料費においても、薬品費の薬価見直しによる経費抑制を図っているが、診療材料を含め16百万円程の増加が見込まれる。その他経費では前年度に比べ節減できる見込みであり、本年度の病院事業費用額は、前年度に比べて47百万円程の増額になるものと見込んでいる。

については、現時点での決算見込額は、事業収入総額を2,265百万円、事業費用総額を2,254百万円、差引額11百万円程の黒字を見込んでいるが、今後の医業収益の如何により、事業収益が大きく変動することから、予断を許さない状況と言える。

# 平成22年度 病院事業上半期決算

(収 入)

款	項	目	節
1. 病院事業収益			
	1. 医業収益		
	1. 入院収益		1. 入院収益
	2. 外来収益		1. 外来収益
	3. その他医業収益		1. 医業相談収益 2. その他医業収益
	2. 医業外収益		
	1. 受取利息		1. 受取利息
	2. 他会計繰入金		1. 他会計繰入金
	3. 県補助金		5. 県補助金
	4. 分担金交付金		1. 負担金交付金
	5. その他医業外収益		1. その他医業外収益
	3. 特別利益		
	1. 過年度損益修正益		1. 過年度損益修正益
	2. その他特別利益		1. その他特別利益

(支 出)

款	項	目	節
1. 病院事業費用			
	1. 医業費用		
	1. 給与費		1. 給料 2. 手当 3. 賃金 4. 法定福利費
	2. 材料費		1. 薬品費 2. 診療材料費 3. 給食材料費 4. 医療消耗備品費
	3. 経費		1. 福利厚生費

(単位:千円, %)

H22年度決算	H21年度決算	比較	伸率	摘要
1,124,597	1,100,412	24,185	2.2	
1,089,426	1,050,642	38,784	3.7	
642,196	637,075	5,121	0.8	
642,196	637,075	5,121		
393,534	358,642	34,892	9.7	
393,534	358,642	34,892		
53,696	54,925	△ 1,229	△ 2.2	
14,962	17,604	△ 2,642		
38,734	37,321	1,413		
33,836	48,770	△ 14,934	△ 30.6	
286	36	250	694.4	
286	36	250		
24,400	27,600	△ 3,200	△ 11.6	
24,400	27,600	△ 3,200		
0	0	0	0.0	
0	0	0		
0	0	0	0.0	
0	0	0		
9,150	21,134	△ 11,984	△ 56.7	
9,150	21,134	△ 11,984		
1,335	1,000	335	100.0	
1,335	1,000	335	0.0	
1,335	1,000	335		
0	0	0	100.0	
0	0	0	100.0	

(単位:千円, %)

H22年度決算	H21年度決算	比較	伸率	摘要
1,115,094	1,054,701	60,393	5.7	
1,059,341	1,004,560	54,781	5.5	
669,850	621,338	48,512	7.8	
239,958	231,180	8,778	3.8	
188,226	186,484	1,742	0.9	
75,638	65,509	10,129	15.5	
166,028	138,165	27,863	20.2	
181,057	174,691	6,366	3.6	
103,034	98,599	4,435	4.5	
68,080	64,274	3,806	5.9	
9,124	9,570	△ 446	△ 4.7	
819	2,248	△ 1,429	△ 63.6	
150,411	154,627	△ 4,216	△ 2.7	
160	245	△ 85	△ 34.7	

款	項	目	節
			2. 報償費 3. 旅費交通費 4. 職員被服費 5. 消耗品費 6. 消耗備品費 7. 光熱水利費 8. 燃料費 9. 食料費 10. 印刷製本費 11. 修繕費 12. 保險料 13. 賃借料 14. 通信運搬費 15. 広告料 16. 手數料 17. 委託料 18. 諸會費 19. 雜費 20. 補償金 21. 交際費
		4. 減価償却費	1. 建物 2. 構築物 3. 器械備品 4. 車両
		5. 研究研修費	1. 研究研修費 2. 研究雜費
		6. 資產減耗費	1. 資產減耗費
	2. 医業外費用		
		1. 支払利息	1. 企業債利息 2. 一時借入金利息
		2. 繰延勘定償却	1. 繰延勘定償却
		3. 消費税雜支出	1. 消費税雜支出
	3. 特別損失		
		1. 特別損失	1. 固定資產売却損 2. 過年度修正損
			差引純利益

(単位:千円, %)

H22年度決算	H21年度決算	比較	伸率	摘要
427	231	196	皆増	
177	455	△ 278	△ 61.1	
458	47	411	874.5	
4,085	4,230	△ 145	△ 3.4	
3,471	1,399	2,072	148.1	
19,604	17,418	2,186	12.6	
5,191	4,000	1,191	29.8	
385	344	41	11.9	
825	474	351	74.1	
11,335	27,671	△ 16,336	△ 59.0	
14,990	12,790	2,200	17.2	
28,511	25,251	3,260	12.9	
1,444	1,375	69	5.0	
237	187	50	26.7	
114	30	84	280.0	
55,697	55,739	△ 42	△ 0.1	
2,302	2,183	119	5.5	
389	50	339	678.0	
0	0	0	0.0	
609	508	101	19.9	
55,155	51,294	3,861	7.5	
31,649	31,840	△ 191	△ 0.6	
225	225	0	0.0	
23,197	19,144	4,053	21.2	
84	85	△ 1	△ 1.2	
2,868	2,610	258	9.9	
1,150	1,332	△ 182	△ 13.7	
1,718	1,278	440	34.4	
0	0	0	0.0	
0	0	0	0.0	
49,140	50,121	△ 981	△ 2.0	
30,970	32,594	△ 1,624	△ 5.0	
30,970	32,594	△ 1,624	△ 5.0	
0	0	0	0.0	
3,750	3,750	0	0.0	
3,750	3,750	0	0.0	
14,420	13,777	643	4.7	
14,420	13,777	643	4.7	
6,613	20	6,593	皆増	
6,613	20	6,593	皆増	
6,560				
53	20	33	皆増	
9,503	45,711	△ 36,208		

# 平成22年度 貸借対照表

(平成22年9月30日)

(単位:円)

## 資産の部

### 1 固定資産

#### (1) 有形固定資産

イ 土 地	457,521,134
ロ 建 物	3,808,523,814
減価償却累計額	936,498,057
2,872,025,757	
ハ 構 築 物	25,809,408
減価償却累計額	12,616,384
13,193,024	
二 工具器具及び備品	784,510,746
減価償却累計額	383,882,297
400,628,449	
三 車両及び運搬具	9,814,657
減価償却累計額	590,625
9,224,032	
有形固定資産合計	3,752,592,396
(2) 無形固定資産	
イ 電話加入権	122,000
無形固定資産合計	122,000
(3) 投資有価証券	
イ 投資有価証券	103,895
投資合計	103,895
固定資産合計	<u>3,752,818,291</u>

### 2 流動資産

(1) 現金預金	341,999,318
(2) 未収金	373,912,219
(3) 貯蔵品	54,736,022
流動資産合計	<u>770,647,559</u>

### 3 繰延勘定

(1) 控除対象外消費税額	88,054,778
繰延勘定合計	<u>88,054,778</u>
資産合計	<u>4,611,520,628</u>

(単位：円)

## 負債の部

### 4 固定負債

### 5 流動負債

(1) 未 払 金

100,496,841

流動負債合計

100,496,841

負債合計

100,496,841

## 資本の部

### 6 資本金

(1) 自己資本金

669,962,029

(2) 借入資本金

2,631,862,812

資本金合計

3,301,824,841

### 7 剰余金

#### (1) 資本剰余金

イ 国庫補助金  
ロ 再評価積立金  
ハ 寄付金  
二 その他資本剰余金

455,008,000

1,270,536

8,500,000

1,043,281,084

資本剰余金合計

1,508,059,620

### 8 欠損金

イ 当年度未処理欠損金

△ 298,860,674

欠損金合計

△ 298,860,674

資本合計

4,511,023,787

資本負債合計

4,611,520,628

○ 入院患者数

日数		一般病床					
		内科	外科	整形外科	泌尿器科	産婦人科	小児科
H22. 4	30	1, 345	376	0	615	630	85
H21. 4	30	1, 393	463	0	507	635	147
H22. 5	31	1, 205	461	0	498	803	105
H21. 5	31	1, 429	479	0	504	609	176
H22. 6	30	1, 155	387	0	522	787	110
H21. 6	30	1, 239	494	0	506	646	135
H22. 7	31	1, 321	443	0	527	645	206
H21. 7	31	1, 386	628	0	532	727	136
H22. 8	31	1, 418	618	0	502	745	112
H21. 8	31	1, 267	649	0	417	778	212
H22. 9	30	1, 231	388	0	503	700	126
H21. 9	30	1, 270	639	0	447	542	123
H22. 10	31	1, 335	326	0	544	737	195
H21. 10	31	1, 402	583	0	555	784	173
H22. 11	30	1, 193	345	0	505	577	107
H21. 11	30	1, 352	472	0	518	770	245
H22. 12	31	1, 177	383	0	432	782	158
H21. 12	31	1, 364	454	0	515	814	178
H22. 1	31	1, 312	368	0	483	688	122
H21. 1	31	1, 449	392	0	546	695	149
H22. 2	28						
H21. 2	28						
H22. 3	31						
H21. 3	31						
H22合計	306	12, 692	4, 095	0	5, 131	7, 094	1, 326
H21合計	306	13, 551	5, 253	0	5, 047	7, 000	1, 674
H22-H21	0	-859	-1, 158	0	84	94	-348

		参 照	
計	利 用 率	分 婦	透 析
3,051	75.9	53	421
3,145	78.2	43	359
3,072	74.0	41	395
3,197	77.0	44	343
2,961	73.7	60	381
3,020	75.1	47	319
3,142	75.6	55	413
3,409	82.1	60	342
3,395	81.7	47	400
3,323	80.0	54	363
2,948	73.3	55	378
3,021	75.1	39	350
3,137	75.5	62	389
3,497	84.2	54	370
2,727	67.8	41	364
3,357	83.5	47	358
2,932	70.6	60	334
3,325	80.0	53	359
2,973	71.6	49	400
3,231	77.8	49	390
0	0.0		
0	0.0		
0	0.0		
0	0.0		
30,338	74.0	523	3,875
32,525	79.3	490	3,553
-2,187	-5.3	33	322

○外来患者数

	日 数	内 科	外 科	整形外科	泌尿器科	透 析	産婦人科
H22. 4	21	2, 606	430	119	451	614	1, 485
H21. 4	21	2, 735	452	148	421	397	1, 283
H22. 5	18	2, 247	401	108	440	609	1, 367
H21. 5	18	2, 531	485	131	401	424	1, 318
H22. 6	22	2, 651	554	131	443	593	1, 516
H21. 6	22	2, 540	556	214	403	546	1, 410
H22. 7	21	2, 760	427	84	466	571	1, 433
H21. 7	22	2, 719	634	186	466	572	1, 493
H22. 8	22	2, 624	491	72	479	738	1, 506
H21. 8	21	2, 563	634	165	448	563	1, 289
H22. 9	20	2, 469	400	56	509	726	1, 478
H21. 9	19	2, 499	469	94	454	545	1, 334
H22. 10	20	2, 595	375	70	489	729	1, 425
H21. 10	21	2, 715	520	120	476	580	1, 357
H22. 11	20	2, 656	388	71	528	706	1, 468
H21. 11	19	2, 756	425	88	464	565	1, 300
H22. 12	19	2, 579	364	95	538	754	1, 390
H21. 12	19	2, 630	423	109	458	580	1, 279
H22. 1	19	2, 472	400	102	467	711	1, 308
H21. 1	19	2, 511	419	98	419	576	1, 217
H22. 2	19						
H21. 2	19						
H22. 3	22						
H21. 3	22						
H22合計	202	25, 659	4, 230	908	4, 810	6, 751	14, 376
H21合計	201	26, 199	5, 017	1, 353	4, 410	5, 348	13, 280
H22-H21	1	-540	-787	-445	400	1, 403	1, 096

小兒科	耳鼻科	眼科	放射線科	合計	1日平均	健診
764	190	76	30	6,765	322	92
1,343	175	81	22	7,057	336	121
884	128	82	15	6,281	349	154
1,321	170	85	8	6,874	382	182
887	172	63	23	7,033	320	265
1,011	134	111	17	6,942	316	252
717	213	74	31	6,776	323	215
1,058	179	91	16	7,414	337	336
781	160	67	24	6,942	316	262
1,186	152	82	11	7,093	338	312
599	286	78	11	6,612	331	319
1,110	168	84	14	6,771	356	228
628	167	45	23	6,546	327	260
1,245	151	72	27	7,263	346	229
788	141	84	24	6,854	343	311
1,646	120	73	17	7,454	392	166
809	156	79	12	6,776	357	99
1,360	148	61	17	7,065	372	81
773	166	61	21	6,481	341	41
1,232	116	88	13	6,689	352	63
				0	0	
				0	0	
				0	0	
				0	0	
7,630	1,779	709	214	67,066	332	2,018
12,512	1,513	828	162	70,622	351	1,970
-4,882	266	-119	52	-3,556	-19	48

○ 時間外患者数

			4月	5月	6月	7月	8月	9月
内 科	外来	H22	132	239	135	208	170	185
		H21	208	303	133	170	178	275
	入院	H22	11	26	23	20	19	17
		H21	22	21	17	10	18	14
外 科	外来	H22	33	53	55	48	33	35
		H21	52	78	63	85	77	56
	入院	H22	3	6	3	3	9	1
		H21	4	7	3	11	9	11
整形外科	外来	H22	1	1	1	0	1	0
		H21	0	0	1	1	0	0
	入院	H22	0	0	0	0	0	0
		H21	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	外来	H22	7	13	8	5	11	9
		H21	6	7	6	6	13	14
	入院	H22	0	1	2	1	2	1
		H21	2	1	1	2	0	0
産婦人科	外来	H22	42	53	44	55	34	40
		H21	47	69	32	45	35	51
	入院	H22	3	7	2	4	9	4
		H21	7	7	4	8	5	4
小児科	外来	H22	192	304	193	198	161	138
		H21	287	412	219	226	305	299
	入院	H22	1	6	2	2	4	3
		H21	4	10	6	3	12	5
眼 科	外来	H22	1	1	0	0	0	0
		H21	0	1	0	0	0	0
	入院	H22	0	0	0	0	0	0
		H21	0	0	0	0	0	0
耳 鼻 科	外来	H22	1	4	0	1	0	0
		H21	1	5	0	0	2	2
	入院	H22	0	0	0	0	0	0
		H21	0	0	0	0	0	0
計	外来	H22	409	668	436	515	410	407
		H21	601	875	454	533	610	697
	入院	H22	18	46	32	30	43	26
		H21	39	46	31	34	44	34
入院外来 合計	H22	427	714	468	545	453	433	
	H21	640	921	485	567	654	731	
	H22-H21	-213	-207	-17	-22	-201	-298	

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
161	126	212	219			1,787
201	321	345	263			2,397
15	17	12	21			181
16	22	21	15			176
36	30	35	61			419
75	45	61	49			641
1	0	8	2			36
5	4	5	5			64
1	0	0	0			5
2	1	2	1			8
0	0	0	0			0
0	0	0	1			1
10	6	5	10			84
14	10	9	1			86
3	0	0	3			13
2	1	3	2			14
64	41	38	60			471
25	39	43	47			433
6	4	6	8			53
5	4	2	3			49
167	145	191	282			1,971
328	607	363	415			3,461
6	3	5	3			35
3	8	9	4			64
0	0	0	0			2
0	0	0	0			1
0	0	0	0			0
0	0	0	0			0
1	0	0	2			9
0	0	1	1			12
0	0	0	0			0
0	0	0	0			0
440	348	481	634	0	0	4,748
645	1,023	824	777	0	0	7,039
31	24	31	37	0	0	318
31	39	40	30	0	0	368
471	372	512	671	0	0	5,066
676	1062	864	807	0	0	7,407
-205	-690	-352	-136	0	0	-2,341

## ○ 平均在院日数

(単位：日)

\	一般 病床						
	内科	外科	整形外科	泌尿器科	産婦人科	小児科	計
H22. 4	21.3	14.8	/	11.4	6.4	4.1	11.6
H21. 4	20.6	22.2	/	7.4	7.0	4.4	11.8
H22. 5	18.6	24.5	/	21.8	8.1	4.3	12.7
H21. 5	23.2	21.1	/	8.7	5.9	3.8	11.5
H22. 6	16.2	14.8	/	8.4	6.8	3.6	9.9
H21. 6	22.7	21.5	/	11.4	6.5	3.8	11.9
H22. 7	20.7	17.1	/	6.7	6.0	5.5	10.9
H21. 7	30.9	18.6	/	8.6	7.4	5.1	13.6
H22. 8	25.5	23.3	/	5.9	6.7	2.9	12.4
H21. 8	22.4	18.0	/	2.9	6.9	4.4	11.2
H22. 9	22.6	18.6	/	4.8	7.0	3.8	11.1
H21. 9	30.3	18.8	/	7.5	6.5	4.3	13.3
H22. 10	23.0	14.5	/	9.6	5.8	3.4	10.0
H21. 10	21.8	18.9	/	11.9	8.8	4.9	13.4
H22. 11	16.8	17.2	/	6.1	5.7	4.6	9.9
H21. 11	20.9	20.8	/	8.5	7.4	7.3	12.3
H22. 12	23.1	11.6	/	4.0	6.4	3.5	9.5
H21. 12	19.5	15.8	/	7.8	7.7	3.9	10.9
H22. 1	20.3	19.6	/	5.7	5.8	3.8	10.5
H21. 1	23.8	16.1	/	14.1	7.5	4.4	12.6
H22. 2							
H21. 2							
H22. 3							
H21. 3							
H22合計	20.6	17.3		7.2	6.4	3.9	10.8
H21合計	23.1	19.3		8.8	7.2	4.6	12.2
H22-H21	-2.5	-2.0	0.0	-1.6	-0.8	-0.7	-1.4

○ 紹介率

	初診患者数	休日時間外 6歳未満	紹介患者数	救急車搬送 患者数	紹介率 (%)
H22. 4	697	92	195	27	36.7
H21. 4	804	102	164	30	27.6
H22. 5	755	153	145	36	30.1
H21. 5	893	148	107	38	19.5
H22. 6	807	87	163	36	27.6
H21. 6	764	94	140	32	25.7
H22. 7	724	91	184	31	34.0
H21. 7	799	88	137	22	22.4
H22. 8	836	66	174	32	26.8
H21. 8	920	160	137	32	22.2
H22. 9	640	53	172	33	34.9
H21. 9	804	111	136	30	24.0
H22. 10	653	72	153	24	30.5
H21. 10	913	103	165	36	24.8
H22. 11	672	79	165	34	33.6
H21. 11	1,241	115	148	45	17.1
H22. 12	672	81	177	33	35.5
H21. 12	1,079	107	176	47	22.9
H23. 1	672	132	163	36	36.9
H22. 1	884	150	138	41	24.4
H23. 2					#DIV/0!
H22. 2					#DIV/0!
H23. 3					#DIV/0!
H22. 15					#DIV/0!
H22合計	7,128	906	1,691	322	32.4
H21合計	9,101	1,178	1,448	353	22.7

①業務活動によるキャッシュフロー計算書

区分	H21年度決算	H22.4	H22.5	H22.6	H22.7
入院収入（診療報酬分）	1,047,432	102,358	108,930	94,616	101,020
入院収入（窓口分）	230,620	9,298	9,179	8,392	8,886
外来収入（診療報酬分）	596,453	47,497	48,893	47,650	49,337
外来収入（窓口分）	133,524	10,013	8,927	10,334	9,962
他会計負担金（3条・医業）	40,577			9,000	
その他医業収入	42,148	4,072	2,162	1,998	2,493
医業相談収入（健診）	33,089	3,822	4,469	3,076	1,632
給与費支出	△ 1,262,479	△ 111,404	△ 78,340	△ 202,146	△ 144,220
材料費支出	△ 399,451	△ 26,767	△ 31,685	△ 23,813	△ 41,072
経費支出	△ 323,257	△ 47,533	△ 26,313	△ 24,113	△ 24,376
研究研修費支出	△ 5,555	△ 269	△ 866	△ 556	△ 940
小計	133,101	△ 8,913	45,356	△ 75,562	△ 37,278
受取利息及び配当金収入	492		25	259	
患者外給食収入	356		10		
他会計負担金（3条）	42,521			9,500	
補助金	4,721	13,541	11,031		
その他医業外収入	49,875	482	25	4,144	445
支払利息支出	△ 64,402				
消費税及び地方消費税支出	△ 940		△ 1,991		
その他医業外費用支出					
小計	32,623	14,023	9,100	13,903	445
特別利益収入	4,304	2,295			736
特別損失支出	△ 105				
小計	4,199	2,295	0	0	736
過年度未収金収入	338	11	101	360	78
過年度未払金支出					
小計	338	11	101	360	78
合計	170,261	7,416	54,557	△ 61,299	△ 36,019

投資活動によるキャッシュフロー

有形固定資産の取得による支出	△ 61,858				
有形固定資産の補助金収入	2,625				
合計	△ 59,233	0	0	0	0

③財務活動によるキャッシュフロー

短期借入（一時借入金）による収入					
短期借入（一時借入金）による支出					
長期借入（企業債）による収入					
長期借入（企業債）の返済による支出	△ 156,149				
他会計出資金（4条分）	2,794			21,500	
他会計負担金（4条分）	96,902				
合計	△ 56,453	0	0	21,500	0

④現金等の増加（減少）額 ①+②+③	54,575	7,416	54,557	△ 39,799	△ 36,019
⑤現金等の期首残高	315,457	370,032	377,448	432,005	392,206
⑥現金等の期末残高 ④+⑤	370,032	377,448	432,005	392,206	356,187

H22. 8	H22. 9	H22. 10	H22. 11	H22. 12	H23. 1	合 計
112, 130	100, 641	104, 223	92, 713	100, 083	102, 706	1, 019, 420
8, 603	8, 726	8, 677	9, 380	9, 535	8, 036	88, 712
50, 605	48, 495	60, 938	64, 083	54, 460	54, 757	526, 715
10, 971	10, 375	9, 477	11, 076	11, 936	10, 959	104, 030
	9, 000			12, 000	33, 724	63, 724
3, 334	2, 674	2, 699	2, 341	5, 376	2, 244	29, 393
5, 698	3, 425	1, 673	5, 214	3, 277	2, 507	34, 793
△ 80, 250	△ 112, 777	△ 81, 213	△ 79, 548	△ 185, 604	△ 136, 349	△ 1, 211, 851
△ 30, 754	△ 28, 783	△ 30, 250	△ 32, 757	△ 29, 821	△ 35, 676	△ 311, 378
△ 27, 695	△ 23, 453	△ 45, 318	△ 26, 779	△ 28, 082	△ 22, 715	△ 296, 377
△ 58	△ 216	△ 865	△ 342	△ 813	△ 552	△ 5, 477
52, 584	18, 107	30, 041	45, 381	△ 47, 653	19, 641	41, 704
34			13			331
31	9, 500	3			19	63
				12, 200	2, 942	34, 142
10	105	887	58	965	160	24, 572
△ 123	△ 30, 847			△ 1, 098	△ 115	7, 281
						△ 31, 085
						△ 3, 089
						0
△ 48	△ 21, 242	890	71	12, 067	3, 006	32, 215
						3, 031
						0
0	0	0	0	0	0	3, 031
39	426	113	44	91	33	1, 296
39	426	113	44	91	33	1, 296
52, 575	△ 2, 709	31, 044	45, 496	△ 35, 495	22, 680	78, 246

△ 6, 960	△ 1, 830	△ 20, 271		△ 148, 918		△ 177, 979
						0
△ 6, 960	△ 1, 830	△ 20, 271	0	△ 148, 918	0	△ 177, 979

						0
						0
						0
△ 3, 846	△ 72, 918				△ 3, 846	△ 80, 610
	21, 500			15, 800	23, 334	82, 134
						0
△ 3, 846	△ 51, 418	0	0	15, 800	19, 488	1, 524

41, 769	△ 55, 957	10, 773	45, 496	△ 168, 613	42, 168	△ 98, 209
356, 187	397, 956	341, 999	352, 772	398, 268	229, 655	370, 032
397, 956	341, 999	352, 772	398, 268	229, 655	271, 823	271, 823

## 平成22年度 病院事業決算書（見込）

(収 入)

款	項	目	節
1. 病院事業収益			
	1. 医業収益		
	1. 入院収益		1. 入院収益
	2. 外来収益		1. 外来収益
	3. その他医業収益		1. 医業相談収益 2. その他医業収益
	2. 医業外収益		
	1. 受取利息		1. 受取利息
	2. 他会計繰入金		1. 他会計繰入金
	3. 県補助金		5. 県補助金
	4. 分担金交付金		1. 分担金交付金
	5. その他医業外収益		1. その他医業外収益
	3. 特別利益		
	1. 過年度損益修正益		1. 過年度損益修正益
	2. その他特別利益		1. その他特別利益

(支 出)

款	項	目	節
1. 病院事業費用			
	1. 医業費用		
	1. 給与費		1. 給料 2. 手当 3. 賃金 4. 法定福利費
	2. 材料費		1. 薬品費 2. 診療材料費 3. 給食材料費 4. 医療消耗備品費
	3. 経費		1. 福利厚生費

(単位:千円, %)

H22年度決算	H21年度決算	比較	伸率	摘要
2,265,071	2,274,372	△ 9,301	△ 0.4	
2,183,509	2,171,278	12,231	0.6	
1,289,982	1,308,314	△ 18,332	△ 1.4	
1,289,982	1,308,314	△ 18,332		
753,944	740,249	13,695	1.9	
753,944	740,249	13,695		
139,583	122,715	16,868	13.7	
38,000	37,528	472		
101,583	85,187	16,396		
80,262	99,799	△ 19,537	△ 19.6	
320	493	△ 173	△ 35.1	
320	493	△ 173		
39,542	42,521	△ 2,979	△ 7.0	
39,542	42,521	△ 2,979		
5,100	7,170	△ 2,070	0.0	
5,100	7,170	△ 2,070		
13,500	13,541	△ 41	0.0	
13,500	13,541	△ 41		
21,800	36,074	△ 14,274	△ 39.6	
21,800	36,074	△ 14,274		
1,300	3,295	△ 1,995	100.0	
1,300	1,000	300	0.0	
1,300	1,000	300		
0	2,295	△ 2,295	100.0	
0	2,295	△ 2,295	100.0	

(単位:千円, %)

H22年度決算	H21年度決算	比較	伸率	摘要
2,254,165	2,207,593	46,572	2.1	
2,140,528	2,099,179	41,349	2.0	
1,339,108	1,307,697	31,411	2.4	職員給与比率 61.3%
479,993	466,403	13,590	2.9	
389,080	405,125	△ 16,045	△ 4.0	
170,246	150,013	20,233	13.5	
299,789	286,156	13,633	4.8	
367,285	351,370	15,915	4.5	材料費比率 16.8%
205,300	196,063	9,237	4.7	うち薬品費 9.4%
139,600	132,303	7,297	5.5	
18,235	19,699	△ 1,464	△ 7.4	
4,150	3,305	845	25.6	
316,523	321,437	△ 4,914	△ 1.5	
274	246	28	11.4	

款	項	目	節
			2. 報償費 3. 旅費交通費 4. 職員被服費 5. 消耗品費 6. 消耗備品費 7. 光熱水利費 8. 燃料費 9. 食料費 10. 印刷製本費 11. 修繕費 12. 保險料 13. 賃借料 14. 通信運搬費 15. 広告料 16. 手數料 17. 委託料 18. 諸會費 19. 雜費 20. 補償金 21. 交際費
		4. 減価償却費	1. 建物 2. 構築物 3. 器械備品 4. 車両
		5. 研究研修費	1. 研究研修費 2. 研究雜費
		6. 資產減耗費	1. 資產減耗費
	2. 医業外費用		
		1. 支払利息	1. 企業債利息 2. 一時借入金利息
		2. 繰延勘定償却	1. 繰延勘定償却
		3. 消費税雜支出	1. 消費稅雜支出
	3. 特別損失		
		1. 特別損失	1. 特別損失
			差引純利益

(単位:千円, %)

H22年度決算	H21年度決算	比較	伸率	摘要
500	662	△ 162	△ 24.5	
1,800	621	1, 179	189.9	
535	390	145	37.2	
8,278	8,605	△ 327	△ 3.8	
7,580	5,774	1,806	31.3	
39,746	40,656	△ 910	△ 2.2	
8,620	8,504	116	1.4	
750	920	△ 170	△ 18.5	
1,500	1,847	△ 347	△ 18.8	
42,567	55,335	△ 12,768	△ 23.1	
25,500	21,448	4,052	18.9	
51,000	49,573	1,427	2.9	
2,500	3,096	△ 596	△ 19.3	
300	344	△ 44	△ 12.8	
200	445	△ 245	△ 55.1	
118,800	118,647	153	0.1	
2,500	2,788	△ 288	△ 10.3	
800	141	659	467.4	
1,500	0	1,500	0.0	
1,273	1,395	△ 122	△ 8.7	
110,312	111,193	△ 881	△ 0.8	
63,298	63,298	0	0.0	
450	449	1	0.2	
46,395	47,277	△ 882	△ 1.9	
169	169	0	0.0	
6,000	5,365	635	11.8	
3,000	2,514	486	19.3	
3,000	2,851	149	5.2	
1,300	2,117	△ 817	0.0	
1,300	2,117	△ 817	0.0	
104,077	106,057	△ 1,980	△ 1.9	
61,577	64,403	△ 2,826	△ 4.4	
61,577	64,403	△ 2,826	△ 4.4	
0	0	0	0.0	
7,500	7,433	67	0.9	
7,500	7,433	67	0.9	
35,000	34,221	779	2.3	
35,000	34,221	779	2.3	
9,560	2,357	7,203	305.6	
9,560	2,357	7,203	305.6	
9,560	2,357	7,203	305.6	
10,906	66,779	△ 55,873		経常収支比率 100.5%

# 平成23年度 半田病院事業計画

## 1. 医療提供への取組み方針

平成22年度は、診療報酬の引き上げ等により、病院経営の安定が期待されたが、4月以降の入院・外来患者数は、例年に比べ減少傾向が続くことになった。3月の決算期を迎えた中、医業収益を含め経営の健全性確保が懸念される。

平成23年度の病院運営を推進していくにあたっては、このような医療環境に対応できる病院機能の体制と強化を図っていく必要がある。さらには、西部I医療圏唯一の公立病院として、地域の安定した医療提供に努めていかなければならない。

こうした中、当院では、近年の県西部の医師不足を背景とした医療環境の悪化を受け、地域の透析、産科、小児科医療を負うとともに、小児救急を含む救急医療の役割を担っており、当該診療機能の維持は、地域の医療にとって不可欠なものとなっている。このように、地域医療の中核病院として果たす役割は、益々増大するものと予想され、地域の医療ニーズに即した患者本位の医療提供を使命とする病院運営を進めなければならない。

よって、平成23年度の安定した医療提供を進めるにあたり、当院が有する診療体制の確保と継続に向けた取組みはもとより、新たに充実された検査機能を拠点とした医療連携の強化が課題となっている。平成22年度に整備した内視鏡センターによる健診並びに消化器検査を積極的に促進していく中、早期発見・治癒に取組み患者への的確かつ効果的な医療提供を目指すとともに、若手医師の研修機関としての位置づけを考えている。さらには、この病院機能の有益な活用を図るため、地域住民への健康保持に視点を置いた包括医療の促進を目指していく。また、地域の医療ニーズが高い整形外科の充実が望まれる中、当院医療の機能充実を図るためにも、整形外科の常勤医師確保への取組みを継続しなければならない。

一方、平成23年度の病院運営において、早急な対応策を講じなければならないのが、当院の看護体制(10:1)維持に要する看護師の確保となっている。この主たる要因は、出産・育児休暇等の長期休職が常態化したことにより、看護師に不足が生じたことが挙げられる。看護師不足は、県内でも深刻な問題となっている中、この厳しい状況に対処するため、従来の臨時採用募集を正規雇用へ転換することにした。

この条件整備として、病院職員の定数を140人から150人に改正するとともに、看護体制(7:1)を視野に入れた看護師確保策に取組んでいく。

以上、平成23年度の医療環境を見据え、積極的な医療対応に取組んでいく。

## 2. 事業計画

平成23年度事業において、重要施策となるのが南病棟耐震化改築工事となっている。この事業は、つるぎ町一体となった事業であるとともに、当院にとっても、本館増改築工事以来の大事業となる。事業の円滑な実施に向け、院内医療体制の整備を図る必要があるほか、工期中の入院患者への対応など、今後、様々な事態への対応に追われることが予想される。

また、この改築事業実施と並行して、電子カルテ導入後の効率的な運用を図るための業務改善への取組みのほか、人事評価・目標管理の運用に取組むとともに、翌年2月の病院機能評価受審に向けた準備に取り掛かることになる。

よって、23年度はハード・ソフト事業による煩雑な業務が集中しており、職員には通常業務に加えて、一層の負担を強いることから、メンタルヘルスへの対応など職員の健康管理に十分配慮することが必要となっている。

以下、23年度の主要施策である南病棟耐震化改築事業について、改築の経緯及び工事概要について、報告する。

当院は、地域の災害拠点病院に指定され、災害時の対応に万全を期すことが求められている。さらに、国・県からは、近い将来に予想される東南海・南海地震に対し、施設の耐震化整備計画が示された。

その中、当院の施設で、危惧されていたのが、建築耐用年数を経過した南病棟の耐震強度であった。この状況もあり、平成22年、当該病棟の耐震診断を実施することにしたが、診断の結果、当該施設の強度不足が判明した。この対応策として、補強又は改築かの選択をする必要が生じた。その中、国の緊急経済対策が打ち出され、平成23年度の実施を要件とする医療施設耐震化促進事業が盛り込まれた。

本庁との協議を踏まえ、今回の経済対策による改築事業を実施することに至り、早期着工と完了を目指すため、22年12月議会に設計委託費を予算計上した。

なお、現在の進捗状況は、施工方法及び基本設計策定の段階であり、平成23年の6月議会を目途に改築事業費の予算計上を予定している。

### 事業概要

#### ○病床数の見直し

本県は病床過剰地域に指定され、改築要件として病床数の10%削減が必要。

現行134床(本館37床、南病棟に97床)を124床へ縮小。

## ○新病棟改築計画

- 構造 鉄筋コンクリート3階建
- ・2階 リネン室、洗濯室、倉庫
  - ・3階 入院施設【外科・泌尿器科・小児科】
  - ・4階 入院施設【内科・産婦人科・小児科】

## ○工程

- 1 既設病棟機能を本館施設へ移設するための仮設工事と本館4階の施設増築。
- 2 既設病棟の取壊し工事。
- 3 本工事。

## ○工事関連の財源

現在、基本設計策定を急いでいる状況であり、当該事業に係る総事業費の算定は、現時点において困難となっている。ただし、耐震診断後に示された改築素案をもとに、当院の経営規模と将来的財政負担を勘案した概算では、10億円を上限とした範囲内で総費用を見込んでいる。また、今回の病棟改築事業は、本庁から財政的支援を前提に成立した事業となっていることから、本庁の財政負担の軽減を図るためにも、過大な事業計画の抑制に努めなければならない。

なお、この事業費の財源としては、国の医療施設耐震化特例交付金を充当し、残る病院負担額を病院事業債のほか、一般会計からの繰入金を予定している。

## 3. 財政状況の見込

平成23年度の医療方針のもと、厳しさを増す医療環境の中、積極的な医療提供に取組むと同時に病院の健全運営を図ることにしている。しかし、当年度実施する南病棟改築工事が本格化するに従い、医療及び経営に大きく影響を受けるものと考えられる中、病院経営を左右する入院・外来患者の動向が懸念される。

今回の工事による影響を想定した場合、まず、本館に位置する各外来においては、診療への支障をきたすことは皆無と考え、外来患者への影響は免れるものと見込まれる。一方、入院患者に対しては、既設病棟を取壊すため本館施設内に仮設病床を設置することから、療養環境の低下は避けられない状況となる。この環境により、入院患者が減少することも十分に想定され、入院収益に影響を及ぼすとともに病院経営にも多大な影響を受けるものと見込まれる。

このような想定に加えて、近年の入院・外来患者数は、減少傾向となっている状況もあり、22年度に引き続き病院経営は、一層厳しくなるものと考える。

なお、当年度の決算見込は、当年度に取り壊すことになる既設南病棟の資産減耗費約113百万円を計上することから、この経費を補うだけの収益を確保することは困難であり、赤字決算は避けられない。

このように、平成23年度は、当初より厳しい事情を抱え、病院運営をスタートすることになるが、この現状を前向きに捉えた病院経営を行わなければならない。まず、上記の資産減耗費を除く、医業収支の健全性を図ることを目標とした病院運営に取組んでいくものとする。

この経常的収支の安定を図るためにには、医業収益の確保と適正な費用支出への取組みが欠かせない。よって、医業収益に及ぼす工事の影響を極力抑えるためには、現在の在院日数を堅持し、入院病床の効率的な運用とともに積極的な医療提供に取組んでいく。さらに重要なのが費用の削減対策であり、総体的な取組みとしては、平成23年度の厳しい経営状況を認識した上で、徹底した経費の節減・抑制に努めなければならない。

## ☆病棟改築工事

☆ 建設面積3,257m <sup>2</sup> (単価276,000円/m <sup>2</sup> )
新病棟3,000m <sup>2</sup> 、本館増築257m <sup>2</sup>
本体工事費 898,932千円
解体工事費 54,260千円※病棟2,153m <sup>2</sup> 、旧病棟560m <sup>2</sup> 計2,714m <sup>2</sup>
付帯工事費 千円
設計・管理費 千円
計 1,000,000千円

☆ 財源予定
国庫補助金 ※341,000千円
繰入金 ※400,000千円
起債 200,000千円
自己資金 59,000千円
計 1,000,000千円

## ☆収益的経費の増額

平成23年度末病棟1期分 減耗費 80,818千円
平成23年度末病棟2期分 減耗費 32,708千円
計 113,526千円

## ☆資本的経費の増額

○平成11年度末残高 69,853,058円繰り上げ償還
平成23年度末残高